

2022年12月2日

持続可能な社会の実現に向けてサステナブルなホテルチェーンを目指します

西武・プリンスホテルズワールドワイド
東京都の「TOKYO エシカル」のパートナー企業として参画
人や社会・環境に配慮した「エシカル消費」を推進します

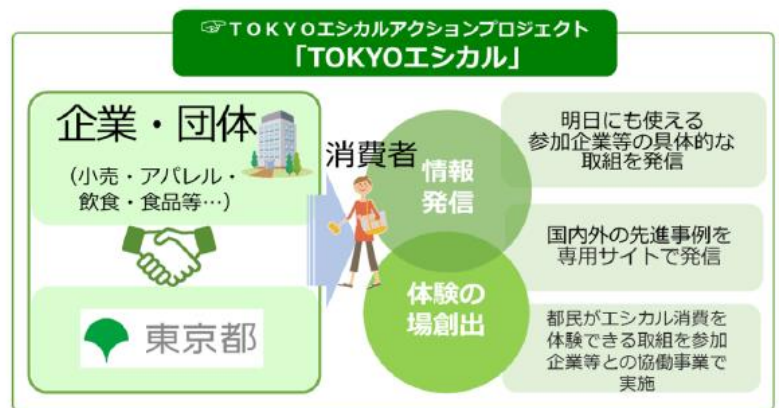
株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド(本社:東京都豊島区南池袋 1-16-15 代表取締役社長:小山 正彦)は、東京都が「エシカル消費」のさらなる浸透と推進を図るためにスタートする「TOKYO エシカル」のパートナー企業として参画いたします。

「エシカル消費」とは消費者それぞれが社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うことを意味し、持続可能な開発目標(SDGs)の17のゴールのうち、特に「つくる責任 つかう責任」に関連した取り組みです。東京都では「ちょっと考えて、ぐっという未来」をスローガンにこの「エシカル消費」を進めており、さらなる浸透・定着を目的に「TOKYO エシカル」をスタートいたします。当社ではこの東京都の取り組みに賛同し、パートナー企業としてこの取り組みを強力に推進してまいります。

西武グループでは、グループの経営理念である「グループビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを「サステナビリティアクション」として積極的に推進しています。また、西武グループでは社会課題・当社の事業環境などを踏まえて特に取り組むべき4領域(安全、環境、社会、会社文化)、12アジェンダ(重要テーマ)を設定し、アジェンダに沿った取り組みを進めております。

その中で西武・プリンスホテルズワールドワイドは、西武グループの中核を担う企業としてプラスチックごみの削減推進や食品ロス削減への取り組み、自然エネルギーによる発電事業や自治体と連携した環境保全活動など、特に環境に配慮した事業活動を進めております。今後も当社は従業員一人ひとりが人や社会、環境のためにできることを考え、実践し、持続可能な社会の実現に貢献できるよう努めてまいります。

【TOKYO エシカル 専用 Web サイト】 <https://ethical-action.tokyo/>



「TOKYO エシカル」イメージ図

◎本件に関する報道各位からのお問合せ
 株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド 広報部
 TEL:03-6709-3302 FAX:03-6709-3400

Seibu Group
 でかける人を、ほほえむ人へ。

【西武・プリンスホテルズワールドワイドの具体的な取り組み例】 ※実施施設は取り組みによって異なります

1. 温室効果ガス削減

(1)省エネルギー設備の導入・代替および自然エネルギーの活用

- ①LED 照明機器の導入…全事業所にて LED 化を推進
- ②電気自動車・カートの導入…ゴルフカート・送迎カートなどの電動化を促進
- ③温泉等地熱活用

(2)省エネ活動

共同配送システムの導入…各ホテルへの食品などの配送を個別配送から共同配送へ切り替え、納品車両を減少

2. 廃棄物削減

(1)食品廃棄物削減

- ①お客さまへの啓発…レストラン内に食品ロス削減の啓発ポスターおよび POP を掲出
- ②食品廃棄物の乾燥による減量および肥料などへの再利用
- ③規格外の食材や食材の端材などの活用

3. 水資源の確保

(1)使用量削減

- ①排水や雨水の再利用(シティホテル)…排水や雨水をろ過、殺菌し、中水としてトイレの洗浄水などに再活用
- ②井水・湧き水・沢水を活用(リゾートホテル)
- ③節水機器の導入…水栓・シャワーヘッドなど

(2)水資源保全活動

採水地自治体への寄付…オリジナルナチュラルミネラルウォーターの売上げの一部を採水地(南魚沼市) に寄付

4. 森林や生物保護

(1)森林保護

- ①里山保全…北海道、群馬県、長野県、神奈川県、滋賀県にて所在事業所が自治体と連携した森林保全活動
- ②間伐材の活用…間伐材を活用したホテルのディスプレイ、リサイクルなど

(2)生物保護

- ①絶滅危惧種の保護…絶滅危惧Ⅱ類「ハナヒョウタンボク」(軽井沢)、長野県花「りんどう」(志賀高原)の保全活動
- ②プラスチックごみの削減
- ③洗剤による水質汚染の低減…連泊時の客室清掃不要をご提案
(当社より環境保全活動に寄付)

